⚠ 安全にお使いいただくために

このたびは本機をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。ご使用前に必ず、この「安全にお使いいただくために」をよくお読みください。また、本書をお読みになった後は、いつでも見られるように大切に保管してください。

⚠ 警告 取扱いを誤った場合に、死亡または重傷を負う恐れのある警告事項が書かれています。安全に使用していただくために、必ずこの警告事項をお守りください。

- 煙が出ている、発熱している、へんな臭いがするなどの異常が発生した場合は、最寄りのキヤノン販売サービスセンターにご連絡ください。
- 落としたり、ぶつけたりして、強いショックを与えないでください。万一、本体が破損した場合は、最寄りのキヤノン販売サービスセンターにご連絡ください。
- 万一、表示画面が破損して中の液晶（液体）が漏れた場合は、絶対に触れないでください。万一、口に入った場合はすぐにうがいをして医師と相談してください。
  また、もし液晶が手や衣服などに付着した場合は、直ちに石鹸で洗い流してください。
- 本機を分解したり、改造したりしないでください。火災や感電の原因になります。
- USBケーブルは、使い方を誤ると火災や感電の原因になります。次のことは必ずお守りください。
  ・ 束ねたり、結んだりしない。
  ・ 濡れた手でUSBケーブルを抜き差ししない。
- USBケーブルを傷つけたり、破損したり、加工したりしないでください。また、重い物を載せたり、引っぱったり、無理に曲げたりしないでください。火災や感電の原因になります。
- 電池は使い方を誤ると電池の破裂、液漏れにより、周囲の汚損やけがの原因になることがあります。次のことは必ずお守りください。
  ・ 分解しない。
  ・ 加熱しない、火の中に投入しない。
  ・ 充電しない。
  本機に使用している電池を取り外した場合は、子供が電池を誤って飲むことがないようにしてください。また、電池は幼児の手の届かないところに置いてください。
  万一、子供が飲み込んでしまった場合は、直ちに医師と相談してください。

⚠ 注意 取扱いを誤った場合に、傷害を負う恐れや物的損害が発生する恐れのある注意事項が書かれています。安全に使用していただくために、必ずこの注意事項をお守りください。

- 湿気やほこりの多い場所には置かないでください。火災や感電の原因になることがあります。
- ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所、振動の多い場所には置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因になることがあります。
- 本機の上には重い物を載せないでください。置いた物が倒れたり、落下して、けがの原因になることがあります。
- 本機の内部に、水や液体、異物（金属片）が入ると、火災や感電の原因になることがあります。その場合は、最寄りのキヤノン販売サービスセンターにご連絡ください。
- プラグを抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。USBケーブルを引っぱると、芯線の露出、断線など、コードが傷つき、火災、感電の原因になることがあります。
- 電池は使い方を誤ると電池の破裂、液漏れにより、周囲の汚損やけがの原因になることがあります。次のことは必ずお守りください。
  ・ 指定以外の電池は使用しない。
  ・ 極性（+と−の向き）に注意して正しく入れる。
  ・ 長時間使用しない時は、本機から電池を取り外しておく。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

取扱い方法についてのご質問、ご相談に電話でお答えします。

お客様相談センター（全国共通番号）

050-555-90025

[受付時間] <平日>9:00～20:00
<土日祝日>10:00～17:00
（1/1～3は休ませていただきます）

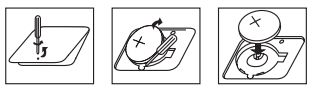
※上記番号をご利用いただけない方は 043-211-9632 をご利用ください。
※上記番号はIP電話プロバイダーのサービスによってつながらない場合があります。
※受付時間は予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

製品に関する情報はこちらでもご確認いただけます。
キヤノン計算機ホームページ　canon.jp/cal

電　源

本機は、太陽電池と内蔵電池の２電源を併用しております。電源は周囲の明るさにより自動的に太陽電池または内蔵電池に切換わりますので、照度の弱い所でもご使用いただけます。

＊内蔵電池は、長時間にわたりご使用いただくことができます。内蔵電池が寿命になっても太陽電池計算機としてご使用になれますが、引き続き、内蔵電池でご使用になりたい場合は、右記の手順で電池交換を行ってください。



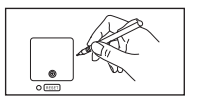
＊使用済みの電池は、＋極と−極をテープで絶縁してから、お住まいの地域の環境法と廃棄基準に従って廃棄してください。

電池交換後は必ず本体裏面のRESETボタンを押し、再度税率を設定し直してください。

◆本機は約７分間操作を行いませんと、むだな電源消費を防ぐために自動的に電源が切れ、表示が消えます（オートパワーオフ機能）。この場合は、ON/CA キーを押せば、再び電源が入ります。

本体裏面のRESETボタン

計算中にすべてのキーの機能が働かなくなる等の異常が発生した場合は、本体裏面のRESETボタンを先端の細いもので押してください。



修理受付窓口

修理サービスのご相談は、お買い上げ販売店または、下記のサービス窓口へお問い合わせ下さい。
下記、修理受付窓口の受付時間は 9:00AM～5:30PMです。土曜、日曜、祝祭日は休ませていただきます。（但し、東京ＱＲセンター・新宿ＱＲセンターの営業時間は 10:00AM～6:00PM、休業日は日曜・祝祭日です。）また、※印のサービスセンターでは、郵送・宅配による修理品もお取扱いを致しております。

（北海道地区）		
※札幌サービスセンター	☎(011)728-0665〒060-8522	北海道札幌市北区北７条西1-1-2 SE山京ビル1F　札幌支店内
（東北地区）		
※仙台QRセンター	☎(022)217-3210〒980-8560	宮城県仙台市青葉区国分町3-6-1 仙台パークビルヂング1F　仙台支店内
（関東・信越地区）		
大宮サービスセンター（持込のみ）	☎(048)649-1450〒330-0854	埼玉県さいたま市大宮区桜木町1-10-17 シーノ大宮ウスウイング6F　さいたま営業所内
東日本修理センター（持込のみ）	☎(043)211-9032〒261-8711	千葉県千葉市美浜区中瀬1-7-2 キヤノン販売ビル1F　幕張事業所内
（東京・神奈川・山梨地区）		
東京QRセンター（持込のみ）	☎(03)3837-2961〒110-0005	東京都台東区上野1-1-12　偕井ビル1F
新宿QRセンター（持込のみ）	☎(03)3348-4725〒163-0401	東京都新宿区西新宿2-1-1 新宿三井ビル1F
横浜サービスセンター（持込のみ）	☎(045)312-0211〒220-0004	神奈川県横浜市西区北幸2-6-26 HI横浜ビル2F　横浜営業所内
※キヤノンテクニカルセンター	☎(0297)35-5000〒306-0605	茨城県岩井市大字馬立1234　F7棟3F（郵送・宅配のみ）
関東地区・東京地区で郵送・宅配にて修理品をお送りいただく場合は、上記キヤノンテクニカルセンターにお送り下さい。		
（中部・北陸地区）		
※名古屋QRセンター	☎(052)939-1830〒461-8511	愛知県名古屋市東区東桜2-2-1 高岳パークビル1F　名古屋支店内
（近畿地区）		
※大阪QRセンター	☎(06)6942-7418〒540-0003	大阪府大阪市中央区森ノ宮中央2-5-3
（中国・四国地区）		
※広島サービスセンター	☎(082)240-6712〒730-0051	広島県広島市中区大手町3-7-5 広島パークビルヂング1F　広島支店内
※高松サービスセンター	☎(087)823-4681〒760-0027	香川県高松市紺屋町4-10 鹿島紺屋町ビル1F　高松営業所内
（九州地区）		
※福岡QRセンター	☎(092)411-4173〒812-0017	福岡県福岡市博多区美野島1-2-1 キヤノン販売福岡ビル1F　福岡支店内

2005年4月1日現在　上記の記載内容は都合により予告なく変更する場合がございますのでご了承ください。

Canon

LS-120TKRW
使用説明書
保証書付

キヤノン電卓保証書	持込修理
機種名	LS-120TKRW
保証期間	本体お買い上げ日より１年
お買い上げ年月日	年　月　日
ご愛用者氏名	
ご住所	〒
電話番号	(　)
販売店名	
販売店住所	

キヤノン販売株式会社 計算機販売企画課　〒108-8011　東京都港区港南2-16-6

This warranty is valid only for service in Japan.
©CANON ELECTRONIC BUSINESS MACHINES (H.K.) CO., LTD. 2005
PUB. E-IJ-1000 ❹　PRINTED IN CHINA

保証内容

1. 使用説明書に従った正常な使用状態で故障した場合、保証期間中は修理または機械交換を無料で行います。
2. 保証期間はお買上げ後本体のみ１年間といたします。
3. 保証期間内でも次のような場合は有料となります。
   イ)取扱い上の不注意、誤用による故障・損傷。
   ロ)火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害や異常電圧による故障及び損傷。
   ハ)不適切な移動・落下などによる故障・損傷。
   ニ)弊社指定の販売店・サービス店以外で修理・改造が行われた場合の故障・損傷。
   ホ)本保証書にお買上げ日・お客様名・販売店名の記入がない場合、または字句が書替えられた場合。
   ヘ)本保証書の提示がない場合。
4. 製品には必ず本保証書を添えて、お買上げ店または弊社サービスセンターまでご持参またはご郵送ください。なお、その場合の交通費・郵送料・その他諸掛りはお客様のご負担となります。
5. 保証期間経過後は規定の修理・交換料金を申し受けます。
6. 本製品の故障またはその使用によって生じた直接、間接の損害については、当社はその責任を負わないものとします。
7. ご転居・ご贈答品等でお買上げ店で修理を受けられない場合は、弊社サービスセンターにご相談ください。
8. 本保証書は日本国内でのみ有効です。
9. この保証書は本書に明示した保証条件のもとで無料修理をお約束するものです。したがって、この保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理についてご不明の場合は弊社サービスセンターにお問合わせください。
10. 修理内容の記録は修理伝票にかえさせていただきます。
11. 保証書は再発行できませんので、保管にご留意ください。

■ 交換サービスのご案内
お客様に迅速かつ確実なサービスをお届けするために、同一機種または弊社規定に従い同等程度の仕様製品との機械交換方式を採用しております。
なお、故障状況により部品交換修理方式を採用させていただく場合もございます。

■ 製品をご郵送くださる場合
1. 保証書にご愛用者名、ご住所、電話番号を必ずご記入の上、故障内容を記したメモ等をつけて製品と同封してください。
2. 保証書の保証期間及び、販売店名をご確認ください。無記入の場合は保証期間内でも有料になる場合がありますので、ご注意ください。
3. 製品は緩衝材に包んでボール箱かメールパック（郵送用の袋）に入れ、郵送中の破損、損傷を防ぐようにご配慮ください。

お願いとご注意

- 計算機をふくときは乾いた柔らかい布をお使いください。絶対にシンナーやベンジン、ぬれ雑巾等はお使いにならないでください。
- 液晶表示部はガラスでできていますので強く押さえないでください。
- 低温の場所で使用すると、液晶表示の応答が幾分遅くなることがありますが、これは液晶の性質によるもので、故障ではありません。

2つのモード（計算モード・PC入力モード）とメモリーカードリーダー・ライター機能

本機には、通常の電卓として使用する計算モードと、テンキーとして使用するPC入力モードの2つのモードがあります。パソコンに接続していない時は、計算モードになります。USBケーブルでパソコンに接続中は、PC/計算 キーで２つのモードを切り替えることができます。 さらに、パソコン接続中は６種類のメモリーカードのデータの読み書きも可能です。

計算モード

計算モードにした際には、電卓としての機能がそのまま使えます。また、計算結果をパソコンに送信することができます。

ON CA　電源オン / クリアオールキー：電源を入れる時に押すキーです。計算中にこのキーを押すと、メモリも含めた全ての計算をクリアします（税率はクリアされません）。

C/C　入力訂正キー：入力した数値を訂正するキーです。誤って数値を入力した直後にこのキーを押すと表示がクリアされるので、正しい数値を入力し直すことができます。２回続けて押すと、計算途中の内容を全てクリアできます（メモリ計算の内容はクリアされません）。

%±　パーセント・プラス・マイナスキー：パーセント計算、割増し、割引き計算を行う時に使います。

BS　バックスペースキー：表示された数値を１桁ずつずらし最下位桁をクリアするキーです。誤って入力した時に、１桁ずつ訂正することができます。

税込　税率設定・税込み計算キー：税率の設定、税込み計算を行う時に使うキーです。あらかじめ計算したい税率を設定することができ、設定した税率で税込み計算を行うことができます。

税抜　税率確認・税抜き計算キー：税率の確認、税抜き計算を行う時に使うキーです。ON CA キーの後にこのキーを１回押すと、設定した税率が表示されます。また、設定した税率で税抜き計算を行うことができます。

メモリ計算

M±　メモリプラスイコールキー：数値または演算結果をメモリに加算する時に使います。

M−　メモリマイナスイコールキー：数値または演算結果をメモリから引く時に使います。

RM CM　リコールメモリ／クリアメモリキー：１回押すと、メモリ内の数値を呼び出します。続けて２回押すと、メモリ内の数値をクリアします。

PC関連キー

PC/計算　PC/計算モード切替えキー：PC入力モードとして使用する場合と、通常の電卓として使用する場合を、このキーで切り替えます。

送信　送信キー：計算結果をパソコンに送信するキーです。

計算結果の送信方法

計算結果がディスプレイ画面に表示された状態で、送信 を押します。

※ パソコンと接続していない時は、送信 キーは無効となります。
※ 計算結果を送信中に、キーを押しても無効となります。
※ 送信できるのは数値のみで、３桁位取りマークやM（メモリ）、＝などの計算状態表示シンボルは送信できません。
※ エラー中（Eシンボル点灯中）は送信できません。
※ 税率設定中は送信できません。
※ データ送信中に異常が発生した場合、画面に「Error」が表示され、データが送信できなくなります。その際には C/C キーを押せば送信中の数値が画面に表示され、ON CA キーを押せば数値がクリアされ、画面に「0.」が表示されます。

仕　様

型　　式：キヤノン「LS-120TKRW」
表　　示：液晶表示12桁
演算桁数：置数、被演算数；12桁　結果；上位桁優先12桁
使用温度範囲：0℃～40℃
外形寸法：153mm（奥行）× 98mm（幅）× 45mm（高さ）
USBケーブル：1.3m
重　　量：164g
電　　源：本体裏面をご覧ください。
付 属 品：USBケーブル（1.3m）

◆改良のため、予告なく仕様の変更を行うことがありますので、あらかじめご了承ください。

◆計算を始める前に、必ず ON CA キーを押してください。

計算例	操作	表示
	ON CA	(0.)
140−25+22=137	140 − 25 + 22 =	(137.)
9÷5x3.2+7-1=11.76	9 ÷ 5 × 3 · 2 + 7 − 1 =	(11.76)
(2+4)÷3x8.1=16.2	2 + 4 ÷ 3 × 8 · 1 =	(16.2)
入力訂正の例		
(誤)2x2 →(正)2x3=6	2 × 2 C/C 3 =	(6.)
(誤)152x →(正)152 ±99=251	152 × + 99 =	(251.)
(誤)123455 →(正)123456	123455 BS 6	(123456.)
自乗・べき乗	× の後続けて = キーを（n-1）回押すと、n乗が得られます。	
$4^3 = 64$	4 × = =	(64.)
逆数計算	÷ = キーを続けて押せば、逆数を求められます。	
$\frac{1}{2} = 0.5$	2 ÷ =	(0.5)
定数計算	アンダーラインがひかれた数字が自動的に定数となります。	
2+3 =5	2 + 3 =	(5.)
4+3 =7	4 =	(7.)
1−2 =−1	1 − 2 =	(−1.)
2−2 =0	2 =	(0.)
2x3 =6	2 × 3 =	(6.)
2x4 =8	4 =	(8.)
6÷3 =2	6 ÷ 3 =	(2.)
9÷3 =3	9 =	(3.)
パーセント計算① 300の27%は？ $\frac{300 \times 27}{100} = 81$	3 00 × 27 %±	(81.)
パーセント計算② 11.2は56の何%？ $\frac{11.2}{56} \times 100 = 20$	11 · 2 ÷ 56 %±	(20.)
割増し計算 1,200+(1,200 x 17.5%) = 1,410	12 00 + 17 · 5 %±	(1'410.)
割引き計算 1,200−(1,200 x 17.5%) = 990	12 00 − 17 · 5 %±	(990.)

メモリ計算

3x4 = 12	ON CA	(0.)
−) 6÷0.2 = 30	3 × 4 M±	(M 12.)
−18	6 ÷ · 2 M±	(M 30.)
+) 200	RM CM	(M −18.)
182	200 M±	(M 200.)
	RM CM	(M 182.)
	RM CM（メモリのクリア）	(182.)

税計算

計算例	操作	表示
税率の設定（例: 5% に設定）	ON CA 税抜 5 税込	(税 % 5.)
確認	ON CA 税抜	(税 % 5.)
税込計算 税抜表示額2,000円の場合の税込額/税額を求めます。（税率5%）		
税込額 = ?	2000 税込	(税込 2'100.)
税額 = ?	税込	(税額 100.)
税抜計算 税込表示額3,150円の場合の税抜額/税額を求めます。（税率5%）		
税抜額 = ?	3150 税抜	(税抜 3'000.)
税額 = ?	税抜	(税額 150.)

◆ 税込 / 税抜 キーを押すごとに、金額→税込額 / 税抜額→税額の順に表示されます。

オーバーフロー

次の場合は、オーバーフローサイン(E)を表示して、以降の置数、演算を停止します。オーバーフローは C/C キーを押して解除してください。

(1)入力または演算結果の整数部が12桁を超えた場合

演算結果は上位12桁のみを表示し、下位桁はカットされます。そのとき演算結果に小数点が表示されます。最上位桁から小数点までの桁数を数えると、カットされた下位桁の桁数を知ることができます。

計算例	操作/表示
123,456,789,012 x 10,000 = 1,234,567,890,120,000（エラー）	123456789012 × 10000 =
	(E 1'234.56789012)

(2)メモリ内の整数部が12桁を超えた場合(Mが点滅します。)

メモリがオーバーフローしたときは C/C RM CM キーを続けて押せばオーバーフローする直前のメモリ内容を呼び起こすことができます。

操作	表示
333333333333 × 3 M±	(M 999'999'999'999.)
123 × 456 M±	(M 1.00000005608)
C/C	(E 1.00000005608)
RM CM	(M 999'999'999'999.)

◆オーバーフローした計算結果はメモリに累積されません。

(3)除数が0の除算を行った場合

操作	表示
200 ÷ 0 =	(E 0.)

パソコンとの接続方法

【重要】

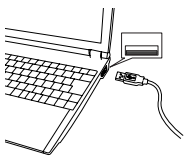
Windows2000(Service Pack2 までの環境)/98 SE/98 は、同梱の CD よりドライバをインストールしてからパソコンに接続してください (詳細は下記「メモリーカードリーダー・ライター機能」の「Windows2000 (Service Pack2 までの環境)/98 SE/98 で使用する場合」をご覧ください)。

※ Windows2000(Service Pack3以降の環境)/Me/XPは自動的にドライバがインストールされるため、ドライバのインストールは必要ありません。

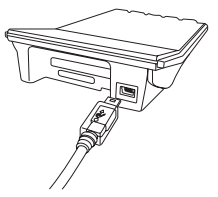
以下の手順に従い、USB ケーブルで本機とパソコンを接続します。

1 パソコンの USB ポートに、同梱の USB ケーブルを接続します。

※ 必ず、パソコン本体のUSBポートに接続してください。パソコン本体以外の USB ポートでは正常に動作しない場合があります。



2 本機のUSBコネクタにUSBケーブルを接続します。



3 接続後、USB ドライバのインストールを行ないます。画面に表示されるメッセージに従って操作してください。

※ 使用するパソコン (OS) によっては、自動的にUSBドライバのインストールが行なわれます。

※ 使用するパソコン (OS) によっては、本機が認識されるまでに約 1 分ほどかかる場合があります。この場合は、パソコンの再操作が可能になるまでお待ちください。

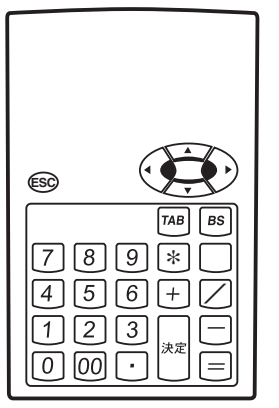
PC入力モード

USBケーブルでパソコンに接続した状態で PC/USB キーを押し、PC入力モードにします。
PC 入力モード時は、本体のディスプレイ画面に「PC 入力モード」と表示されます。また、入力した数字及び計算状態表示も画面に表示されるため、入力内容の確認ができます (計算結果は表示されません)。

右記のキーを押すと、数字 (0～9) やキーに対応するコード (+、−、・、*、／、=、決定、BS、TAB、ESC、←、→、↑、↓) をパソコンに送信でき、数字の入力やカーソル移動が行えます。

※ 右記のキー以外のキーを押しても無効となります。

※ メモリーカードリーダー・ライター機能使用中もPC 入力モードを同時に使用することができます。



＜PC 入力モード時のキー入力＞

注意

※ パソコンがスクリーンセーバーモードに入った時は、以下のキーを押してパソコンを通常の状態に復帰させることができます (パソコンのスタンバイモードの解除はできません)。

・ 計算モード時: 送信 キーを押すと、パソコンを通常の状態に復帰させることができます。

・ PC入力モード時 : PC入力モード時に機能するキーであれば、どのキーを押してもパソコンを通常の状態に復帰させることができます。

※ パソコンの入力設定が「かな入力」、入力モードが「ひらがな」の場合、本機からの数字入力はできません。この場合、入力モードを「英数モード」にしてお使いください。

※ PC入力モード時にUSBケーブルがしっかり接続されていないなどの問題があった場合には、自動的に計算モードへ切り替わります (モードが切り替わった後の最初のキー入力で画面に「0.」が表示されます)。この場合には、接続を確認し再度 PC/USB キーを押せば PC 入力モードに戻ります。

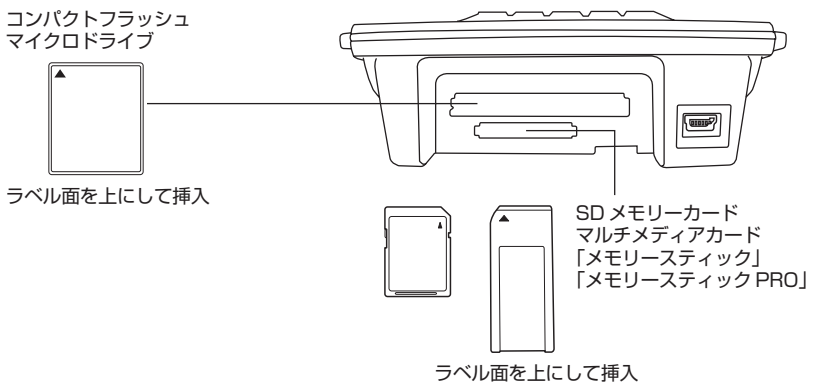
メモリーカードリーダー・ライター機能

本機では、コンパクトフラッシュ・マイクロドライブ・SDメモリーカード・マルチメディアカード・「メモリースティック」・「メモリースティック PRO」の 6 種類のメモリーカードのデータの読み書きができます。

【重要】

メモリーカード内のデータは予め必ず他のメディア (フロッピーディスク、MO 等) に全てバックアップしておいてください。特に再現・修復できない重要なデータは必ずバックアップをしてください。バックアップ作業を行なわなかったためにデータを消失、破損した場合、弊社はその責任は負いかねますので予めご了承ください。

■ メモリーカードの挿入方法



※ メモリーカードの向きを確認してから挿入してください。間違った向きや斜めに差し込むと、メモリーカードが破損するおそれがあります。

※ 著作権保護機能には対応しておりません。

※ マジックゲート機能には対応しておりません。

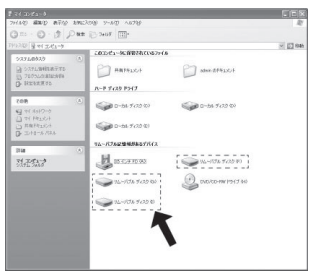
※ PC のスタンバイ・休止機能には対応しておりません。

※ SD メモリーカード、マルチメディアカード、「メモリースティック」「メモリースティック PRO」は同時に使用することはできません。

※ マイクロドライブ使用時は、他のメモリーカードは同時に使用することはできません。

Windows2000(Service Pack3 以降の環境)/Me/XP で使用する場合

本機をパソコンに接続します。「マイコンピュータ」を開き、「リムーバルディスク」アイコンが表示されていることを確認します。



※ 画像は OS によって異なります。

「リムーバルディスク」アイコンが確認できたら、メモリーカードのラベル面を上にしてスロットに差し込みます。

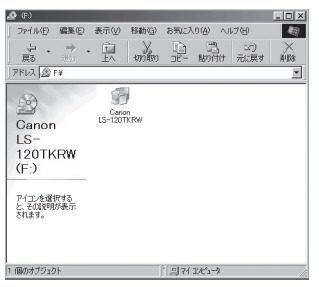
※メモリーカードが正しく挿入されると LED ライトが点灯します。

Windows2000(Service Pack2 までの環境)/98 SE/98 で使用する場合

1 本機をパソコンに接続しない状態で、同梱の CD よりドライバをインストールします。「LS-120TKRW ドライバ CD」CD-ROM をパソコンの CD-ROM ドライブにセットしてください。

2 「マイコンピュータ」から CD-ROM ドライブのアイコンをダブルクリックしてください。

3 右のウィンドウが表示されるので、「Canon LS-120TKRW」アイコンをダブルクリックします。インストールが開始されます。



4 インストール完了後、システムを再起動してください。

5 本機をパソコンに接続します (USB ドライバのインストールが必要な場合は、別紙 : USB ドライバのインストールをご参照ください)。デスクトップ上の「マイコンピュータ」を開き、「リムーバルディスク」アイコンが表示されていることを確認します (表示されるアイコンは、環境により異なります)。

「リムーバルディスク」アイコンが確認できたら、メモリーカードのラベル面を上にしてスロットに差し込みます。

※メモリーカードが正しく挿入されると LED ライトが点灯します。

■対応メモリーカードについて

【重要】

本書に明記された対応メディア以外は使用しないでください。規格の違いから故障や火災の原因になります。

・ コンパクトフラッシュ : 2MB～4GB
・ マイクロドライブ : 2GB～6GB
・「メモリースティック」: 8MB～128MB
・「メモリースティック PRO」: 256MB～1GB
・ SD メモリーカード : 8MB～1GB
・ マルチメディアカード : 4MB～1GB

※ 2005 年 4 月 1 日現在確認済みのもの。詳しくはお客様相談センターにご確認ください。

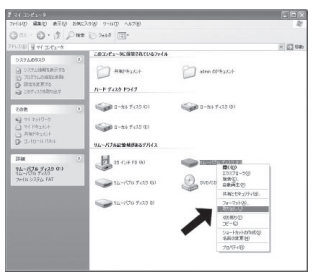
■各種メモリーカードの取り出し

【重要】

カード内のデータにアクセス中の場合、LED ライトが点滅します。LED ライト点滅中はカードを抜き差ししないでください。データが破壊されたり、消失するおそれがあります。

1 本機に差し込んでいるカード内のデータを使用しているアプリケーションを全て終了させます。

2 「マイコンピュータ」を開き、取り出したいカードの「リムーバルディスク」を右クリックします。メニューが表示されるので「取り出し」をクリックし、それからカードを取り出してください。



■本機の取り外し

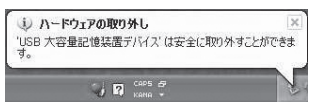
【重要】

本機を取り外す場合、本機にアクセスしているアプリケーションを全て終了させてください。データの移動やコピー中に本機を取り外すと、データが壊れたり、消失するおそれがあります。

1 タスクバー上の「PC カード」アイコンを左クリックします。「USB 大容量記憶装置デバイス — ドライブ (F:, G:, I:,) を安全に取り外します」が表示されますので、このメッセージをクリックします。

※ ドライブ名 (「F:」、「G:」、「H:」、「 I:」と表示された部分) 及び表示内容は環境により異なります。

2 「ハードウェアの取り外し」の吹き出しが表示されたことを確認してから、USB ケーブルを取り外してください。



※ 画像は OS によって異なります。

■ご使用の際に

・ 特殊フォーマットや古いタイプのメディア等、メディアによっては読み書きできないものもあります。

・ モデム等の I/O タイプのカードには対応しておりません。

・ メモリーカードをセットした状態での Windows の起動について、本機にメモリーカードを挿入したままの状態でパソコンを起動すると、パソコンが正しく起動しなかったりメモリーカードを正常に認識しない場合があります。パソコンを起動する時には必ずメモリーカードを取り外しておいてください。

・ 本機でメモリーカードのフォーマットを行なうと、デジタルカメラによってはメモリーカードが認識されない場合があります。メモリーカードをデジタルカメラで使用する場合は、本機では絶対にフォーマットを行なわないでください。

■ソフトウェア使用許諾契約書

・ キヤノン販売株式会社 (以下「弊社」といいます) が提供するドライバ (以下「本ソフトウェア」といいます) を利用されるお客様には、本契約に同意していただく必要がございます。なお、本ソフトウェアをご利用された場合、お客様が本契約の内容に同意したものとみなし、お客様と弊社との間で契約が締結されたものとします。

1 使用許諾

(1) 弊社は、お客様に対して、本ソフトウェアに対応するキヤノン製品を利用する目的で本ソフトウェアを使用する非独占的権利を許諾します。お客様は、当該目的以外で本ソフトウェアを使用したり、第三者に対する再使用許諾、譲渡、貸与、頒布、転載等の処分を行なってはなりません。

(2) お客様は、本ソフトウェアの全部または一部を修正、改変、リバース・エンジニアリング、逆コンパイルまたは逆アセンブル等することはできません。また、第三者にそのような行為をさせてはなりません。

(3) お客様が本契約の定めに違反した場合、お客様は、当然に本ソフトウェアの使用権を喪失し、直ちに本ソフトウェアおよびその全ての複製物を、利用不能な程度に破棄または消去しなければならないものとします。

2 権利の帰属

(1) 本ソフトウェアおよびその複製物の著作権その他の知的財産権は、その内容により弊社に帰属します。

(2) お客様は、本ソフトウェアに付された商標、名称あるいは権利表示を消去、変更等してはならないものとします。

3 保証の否認・免責

(1) 弊社は、本ソフトウェアが、お客様の特定の目的のために適当であること、もしくは有用であること、または本ソフトウェアに瑕疵その他の不具合がないこと、その他本ソフトウェアに関していかなる保証もいたしません。

(2) 弊社は、本ソフトウェアの使用に付随または関連してお客様に生ずる直接的または間接的な損失、損害等について、いかなる場合においても一切の責任を負いません。

4 輸出の禁止

お客様は、日本国政府または該当国の政府より必要な許可等を得ることなしに、本ソフトウェアの全部または一部を、直接または間接にも輸出してはなりません。

5 準拠法・専属合意管轄裁判所

(1) 本契約の準拠法は日本法とします。

(2) 本契約に関連する一切の訴訟については、東京地方裁判所を第一審の専属合意管轄裁判所とします。

■動作環境

● OS

Windows® 98/98 SE/Me/2000 Professional/XP の日本語版がプレインストールされていること

●パソコン

以下の条件を充たす IBM PC/AT 互換(DOS/V)機

① Windows® 98/98 SE/Me/2000 Professional/XP の日本語版が動作可能で本体に USB ポートを装備しているもの

② 日本語キーボードを有しているもの

※ その他、Windows® 98/98 SE/Me/2000 Professional/XP が推奨する動作環境に準拠。

※ 機器の構成により正常に動作しない場合があります。

※ 他の OS(Windows® 3.1/95/NT 等)から Windows® 98/98 SE/Me/2000 Professional/XP にバージョンアップされたパソコンでの動作保証はいたしません。

・ Microsoft® Windows® は、米国 Microsoft Corporation の米国及びその他の国における登録商標です。

・ IBM PC/AT は米国 IBM 社の登録商標です。

・「メモリースティック」、「メモリースティック PRO」は、ソニー株式会社の商標です。

・ CompactFlash®（コンパクトフラッシュ）は、米 SanDisk 社の登録商標です。

・ SD メモリーカード™ は松下電器産業株式会社、米 SanDisk 社、株式会社東芝の商標です。

・ マルチメディアカードは独国インフィニオンテクノロジーズ社の商標です。

・ その他、本取扱説明書に記載されている製品名 / 社名は、一般に各社の商標ならびに登録商標です。